

## 第271回 謳粹会の記

令和5年5月11日（木） 18:30～

朝はいかにも紫外線が強そうな快晴であったが午後になると雲が拡がりカミナリがなり出し土砂降りの雨となった。東横線が落雷のため4、5時間運休となる。熱帯地方の天候と同じに思える。会が始まる18時頃に雨は止んだ。

5月8日（月）に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が「2類」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられた。感染症対策は個人に委ねられ診療は他の疾患と同じく幅広い医療機関が対応する。3年4ヶ月続いたコロナ対策が「平時」対応に切り替わる。ダイヤモンド・プリンセス、緊急事態宣言、濃厚



接触、ソーシャルディスタンス、ステイホーム、ワクチン接種、味覚・嗅覚異常、不要・不急、東京五輪、自粛疲れ、黙食、PCR検査、全世界から入国禁止、副反応、後遺症、家庭内感染、3密、第8波、水際対策の緩和、検査キット、ウィズコロナ、5類へ。普段使うことのない言葉が次々と出てきて繰り返され記憶に残る。感染者数の発表も5月8日が最後になった。8日の全国の感染者数は9,310人、累計3,380万人、累計死者数74,694人である。

今回のお店は小野さん紹介の西新宿にある「KICHIKI 新宿 WEST」である。参加者は、川俣・久松・長戸・山村・安井・小野・星川の各氏と廣瀬の8名である。私の記憶では一番少ない参加者数になった。8名席の個室はお互いの顔が同時に見える距離感で落ち着いた会が始まった。瓶ビールをお互いのグラスに注ぎ、星川さんの発声で乾杯をした。料理はコースを注文していたので次々に供されたが、飲み物はタブレット端末で注文する。日本酒注文時、冷酒一合徳利2本、盃8個を注文したつもりが、一合徳利8本が運ばれてきた。一瞬、一同にうれしさと戸惑いが顔に表れた。最初に、ごぼう・レンコン・お豆腐の金ごまドレッシングサラダが二



鉢、マグロのカルパッチョ（写真）が二皿運ばれてきた。銘々皿に取り分けアテにする。山盛りのフライドポテトで小腹を満たす。コロナ禍について、6月の東進会総会の集客について、会報誌「東進」の発行についてなど、知恵を出し合う会話に時間が過ぎる。カニ味噌の甲羅焼き（写真）、ローストビーフ（写真）、ラムチョップ（写真）と手の込んだ料理が続く。日本酒徳利も空が増え、ワイン、ソーダ割、ジュースなどを追加した。8時過ぎにだし汁に焼きおにぎりが入った椀がでて、デザートはわらび餅であった。20時30分にお開きを告げる。8階にあるお店から1階に下り、小野さんが通行人に依頼し集合写真を撮った。解散したのは8時50分である。 272回謳粹会は令和5年6月8日（木）に開催される。 <廣瀬記>